

コンテンツ転送とは

コンテンツ共有機能では、一台の「窓」が全員に向けてコンテンツ映像を配信する形式でした。

コンテンツ転送機能では、各参加者が**同時に異なる資料や画面を送信することが可能**になります。

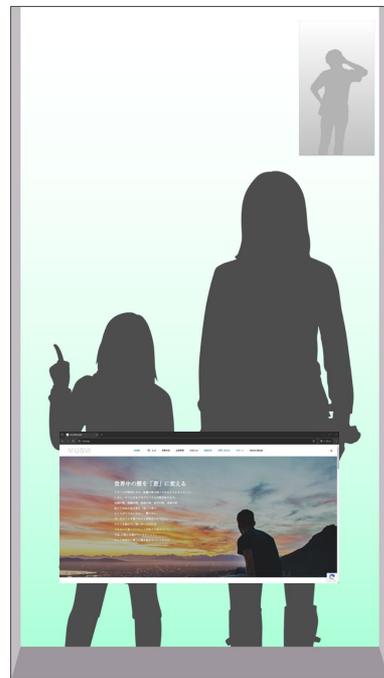
複数の参加者が互いの画面を送り合うことで、資料の比較検討やアイデアの発展的な議論がスムーズに行えます。

従来の一方向の共有から、全員参加型の柔軟な情報共有へと進化することで、より活発で生産的なりモートコラボレーションを実現します。

コンテンツ転送の方法（準備）

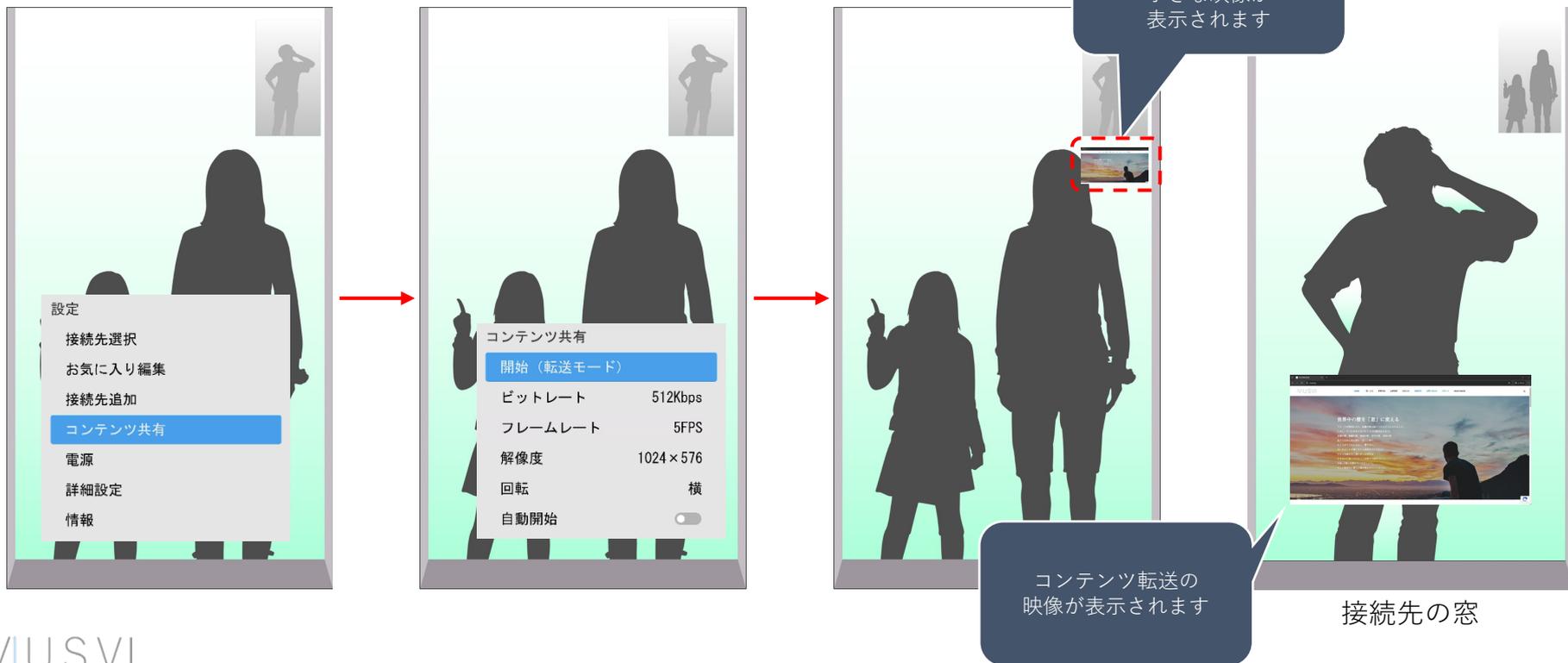
コンテンツ転送を利用するには下記の1～3の状態にしておく必要があります

1. 「窓」のソフトウェアバージョンを**v3.3.0**以降にアップデートする
※ 接続相手も同様にv3.3.0以上にする必要があります
2. コンテンツ転送を利用するには任意の相手と接続しておく必要があります
※ 2地点接続、3地点接続のどちらでもご利用いただけます
3. MUSVIから提供されたHDMIキャプチャーをPCに接続します
※ コンテンツ転送機能の有効化については担当営業にご確認ください



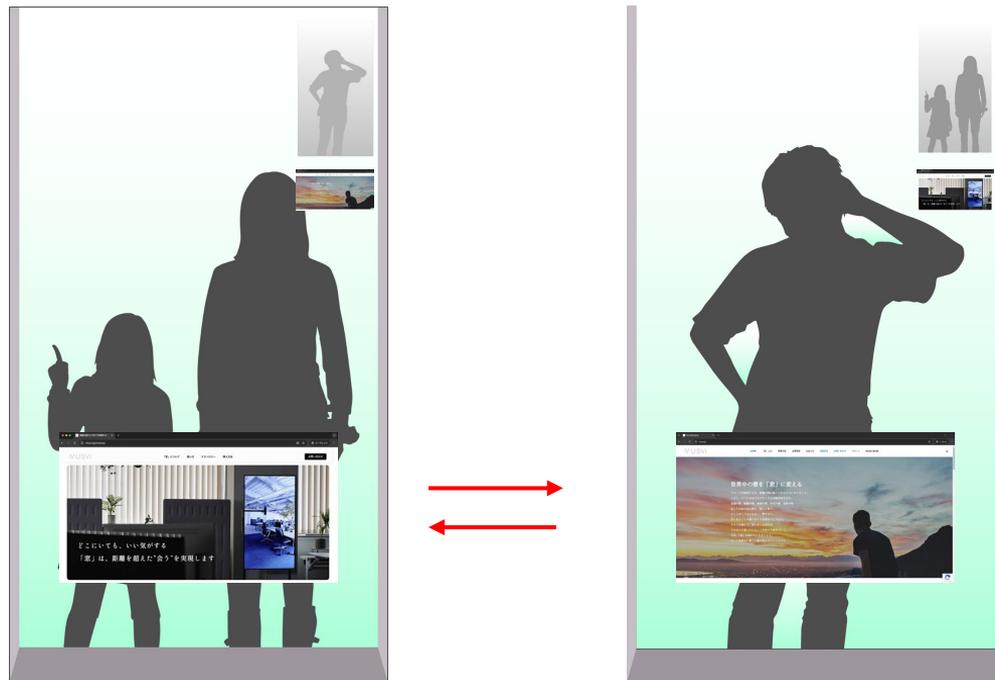
コンテンツ転送の方法（コンテンツ転送を開始する）

“コンテンツ共有”を選んで、“開始（転送モード）”を選択します



コンテンツ転送の方法（コンテンツ転送を開始する）

接続先の窓からコンテンツ転送を行うと、
双方向で、コンテンツ転送を行うことができます。



3地点接続でも
ご利用いただけます

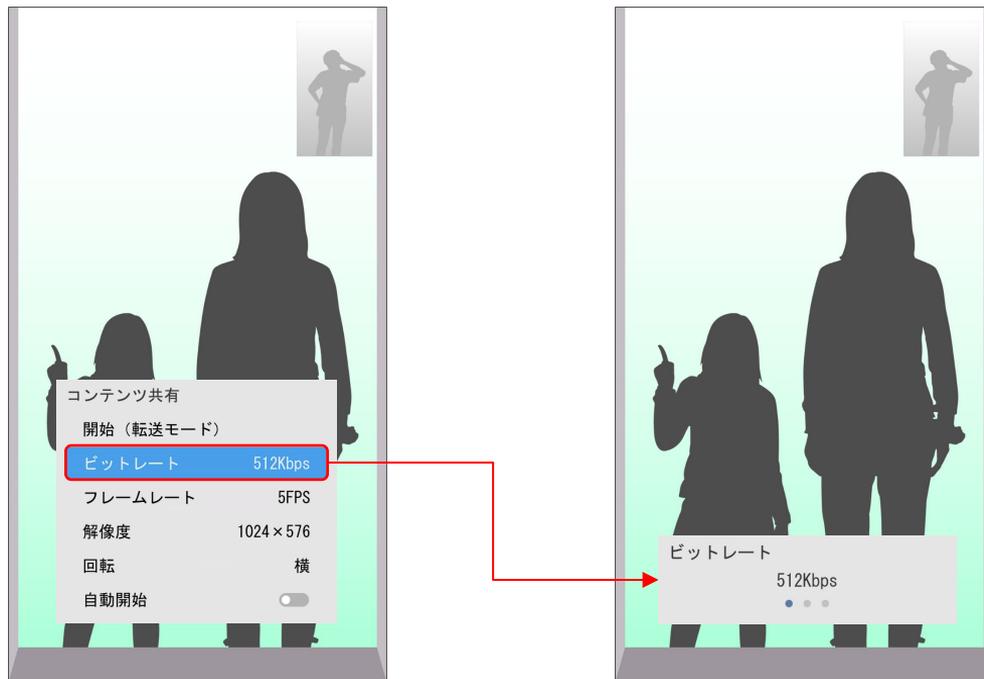
接続先の窓

ビットレートの変更

“コンテンツ共有”のメニューから、“ビットレート”を選択します

“512Kbps” “1Mbps” “2Mbps”から選択できます

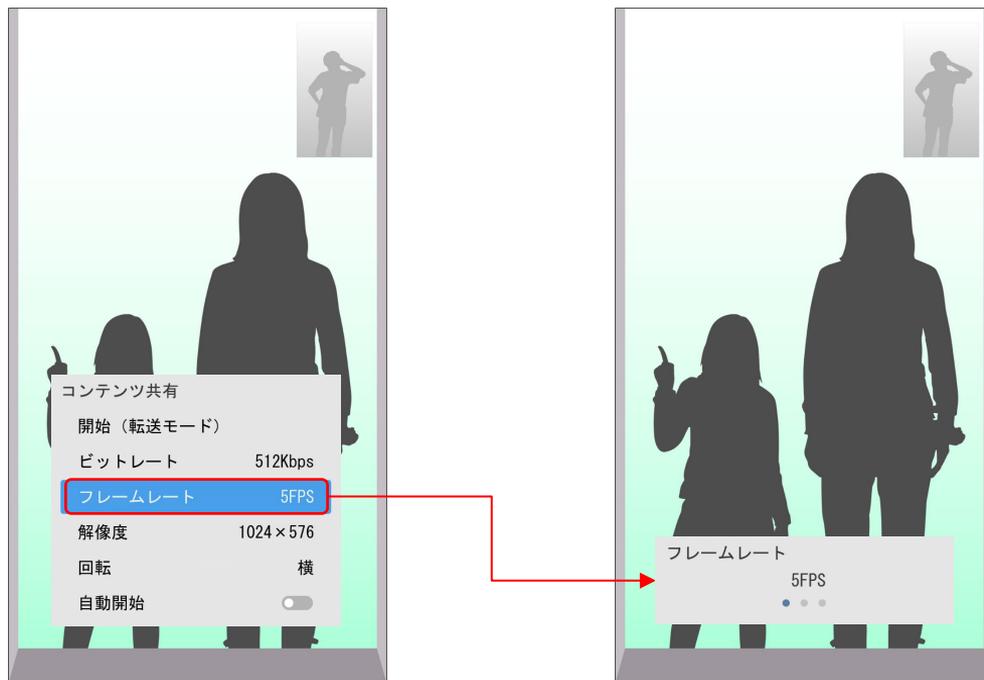
送信する映像の
ビットレートが
変化します



フレームレートの変更

“コンテンツ共有”のメニューから、“フレームレート”を選択します

“5FPS” “15FPS” “30FPS”から選択できます



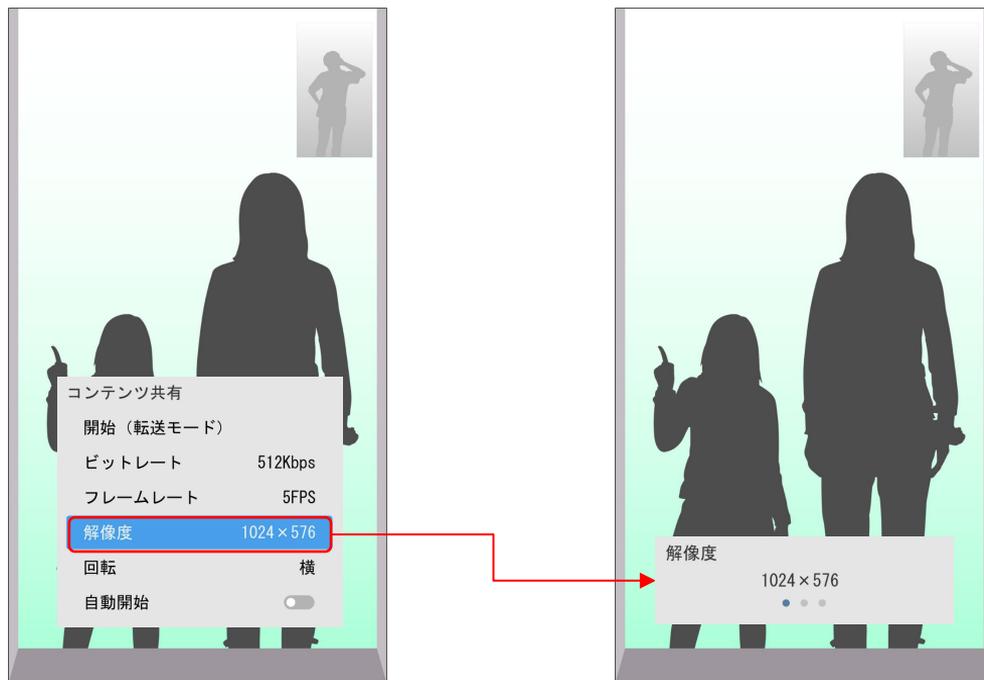
送信する映像の
フレームレートが
変化します

解像度の変更

“コンテンツ共有”のメニューから、“解像度”を選択します

“1024×576” “1280×720” “1920×1080”から選択できます

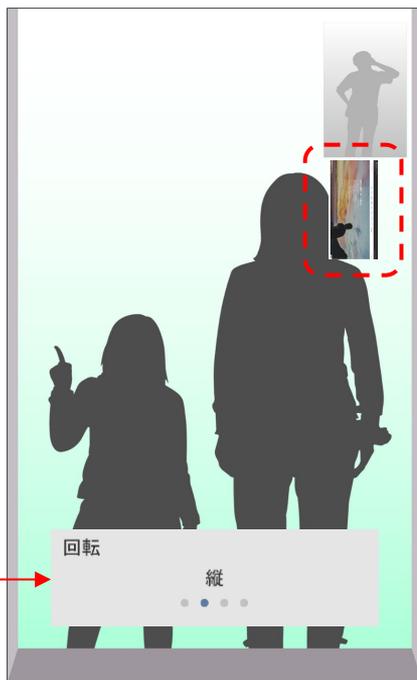
送信する映像の
解像度が
変化します



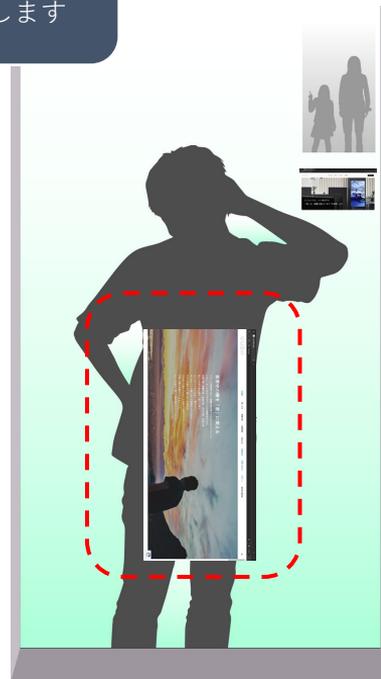
回転の変更

“コンテンツ転送”のメニューから、“回転”を選択します

“横” “縦” “横(反対向き)” “縦(反対向き)”から選択できます



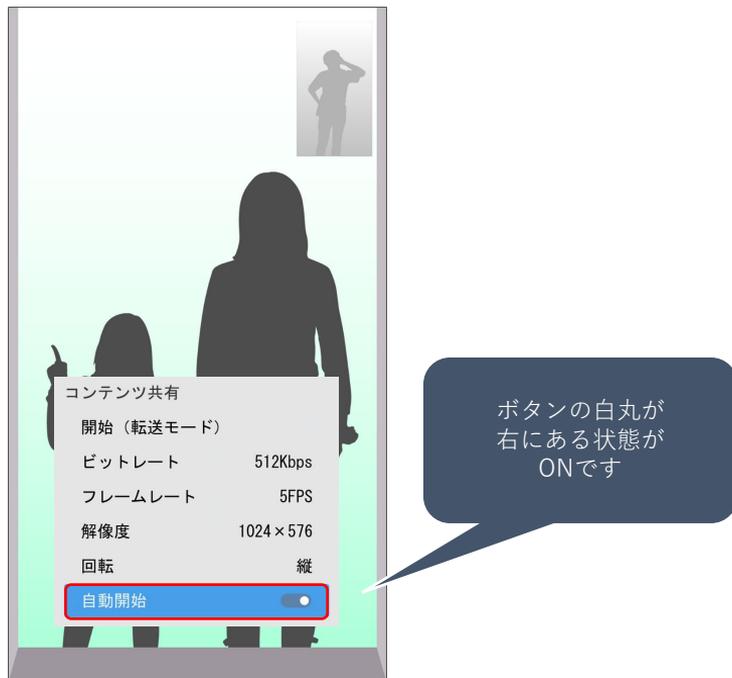
自映像下の映像と
送信する映像の
回転が変化します



自動開始

“コンテンツ転送”のメニューから、“自動開始”のON/OFFが可能です

自動開始をONにすると、窓の起動時に、自動的にコンテンツ転送が開始されます



コンテンツ受信映像の位置/サイズ変更について（2地点接続）

コンテンツ転送中にリモコンの“**決定ボタン**”を押すと受信映像にフォーカスが当たります

フォーカスの色によって位置/サイズの変更を行えます

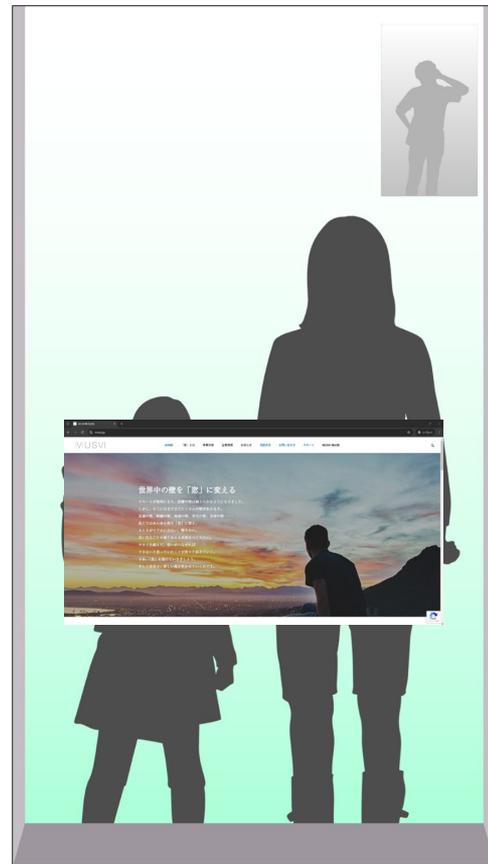
位置/サイズの変更はリモコンの“**上下左右のボタン**”で変更できます

水色の枠：位置変更

紺色の枠：サイズ変更



フォーカスはリモコンの決定ボタンで切り替わります



コンテンツ受信映像の位置/サイズ変更について（3地点接続）

3地点接続時に2つの受信映像が表示されている場合は、
初めに左側に表示されている受信映像にフォーカスが当たります

決定ボタンでフォーカスを切り替えていくと、
右側に表示されている受信映像にフォーカスが当たります

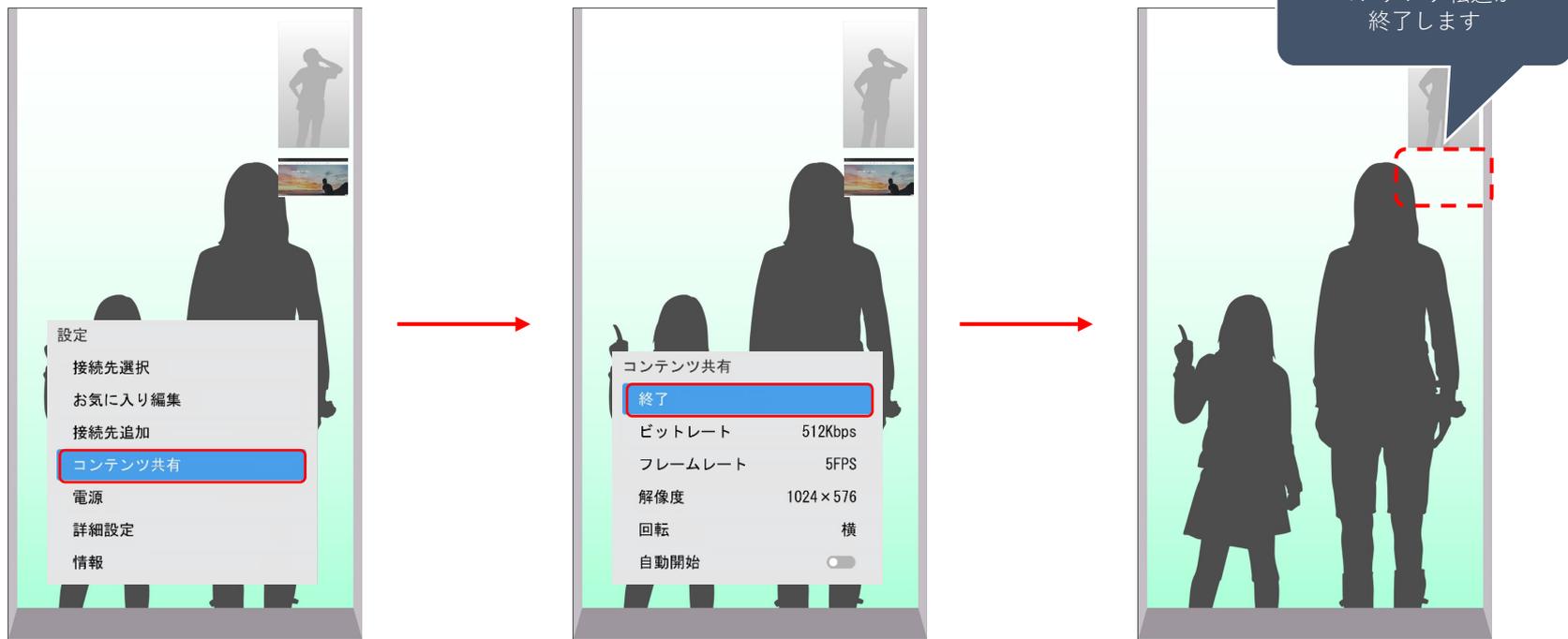


フォーカスはリモコンの決定ボタンで切り替わります



コンテンツ転送を終了する

“コンテンツ共有”を選んで、“終了”を選択します



コンテンツ転送の注意点

3地点共有中でもご利用いただけます

コンテンツ転送は有料オプションです

